

会議等名	平成 30 年 第 5 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 30 年 10 月 16 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所	海老名市役所 7 階 707 会議室
出席者	外部評価委員：田中委員長、城向副委員長、大島副委員長、高橋委員、霜田委員、杉山委員、菅生委員、長谷川委員、山田委員、谷村委員、西海委員（以上 11 名出席） 欠席：武井委員 事務局：藤川財務部次長、川崎政策経営係長、國本
<p>1. 開 会 川崎 政策経営係長</p> <p>2. あいさつ 藤川 財務部次長</p> <p>3. 議題（進行 田中委員長）</p> <p>（1）次年度の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価を行った事業について、資料 1 に基づき担当部課による事年度の取組方針を報告。 <p>（外部評価委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当部課の取組方針としては「見直し縮小」としているもののなかに、国の関わりが大きくなることから、市の関わりが縮小するというものがある。このような事業の中には、全体としては事業を拡大しているものもあるのではないか。 ・全体的には、外部評価結果を受けて各課において十分検討していると思う。 ・次年度への取組方針を受けて、各課にヒアリングを行うなど、今年度新たにプロセスを設けることはしないのか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、外部評価結果についての理解の齟齬をなくすため、評価結果について全庁から質問を受け付けたが、ほとんど質問はなかった。今年度さらにプロセスを設けることは今のところ考えていない。 <p>（2）次年度の外部評価方法の検討について</p> <p>○次年度の外部評価方法について、資料 2 に基づき説明。</p> <p>（外部評価委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度議題に上がっている調書の改善等について、来年度に向けて大きく変えない方向は承知したが、変えられる部分は改善したほうがよい。そこで、何名かの委員と調整し意見を取り込んでいただくことは可能か。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこは可能であると思うので、事務局で修正したものを、委員長から指名 	

のあった委員にご確認いただくよう調整する。

(外部評価委員)

- ・資料にある「グループ作業を充実させる」とあるが、具体的にはどのような内容か。

(事務局)

- ・今年度は、各所管課へのヒアリングの前に外部評価委員によるグループ作業を行っていただいた。事務局としては、ヒアリングに先立ち事業の取捨選択ができれば良いと考えていたが、1回のグループ作業ではヒアリングのための交通整理は困難であった。そこで、今後は、ヒアリング前のグループ作業の回数を増やすなどの方法により、ヒアリングのグループ作業を充実させたいという意図である。

(外部評価委員)

- ・これまでは、A・B・Cの各グループに分かれて評価するが、他のグループの評価については深く検討したり報告することができなかった。今後、そのような取組も可能かどうか検討してほしいが、これを行うとなると、作業時間を捻出するために、取組の方法を見直す必要がある。
- ・市として、外部評価委員会をどのように生かすは検討が必要である。民間であれば、事業費の大きいものだけ評価するなど、対象の事業を取捨選択することはよくある。市でも、予算額の大きいものを評価するなど、次期総合計画においては外部評価委員会で何を評価するか考える必要がある。
- ・評価の対象を20個も30個も設けずに評価を進められるのであれば、対象事業を少なくして評価の方法を抜本的に改めてもよいと思う。評価の対象事業は5～10個でも良いのではないか。
- ・調書を作成する各課の負担も考慮すべきではないか。外部評価の対象事業を少なくすれば、外部評価用に資料を作成する手間も省くことができる。

(事務局)

- ・次期総合計画に向けて、平成31年度、32年度に調書の改正をしなければならぬと認識している。その際、対象事業を限定するか否か、限定する場合には事業費の額で限定するかなど、いくつか方法があると考えられるため、検討していきたい。

(外部評価委員)

- ・評価の対象事業が少なくなった場合、評価調書の作成や業務そのものについて所管課が手を抜いたりしないか。外部評価の任務は全部の事業をチェックすることだと思うので、検討の結果評価の対象事業数をこれまでのように多めに設定することも悪いことではないと思う。
- ・外部評価委員で、評価対象事業を選ぶという方法もある。
- ・評価対象の事業数や評価の方法について、今後全体会で検討するか、あるいは委員長及び両副委員長に任せるなどにより、決定していきたい。
- ・事業を減らす、また、評価の方法を変える際には、なぜそのような動きがあるのか、評価の際のグループ作業時間などから筋書をしっかり整理しておく必要があるのではないか。

(3) 指定管理者に対する第三者評価の今後の予定について

- ・資料3に基づき、今年度の第三者評価スケジュールや評価対象施設の概要を説明。指定管理者に対する専門業者の評価に対し、市民目線、利用者目線での意見をいただきたい旨説明。

(外部評価委員)

- ・詳細の資料を見て、費用対効果について意見するようなものではなく、感想を述べるようなものでよいか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(4) その他

次回外部評価委員会の日程調整。

4. 次回日程

平成30年11月27日(火) 14:00～

海老名市役所3階 政策審議室

5. 閉会

以上